

平成26年8月広島豪雨災害 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) 活動報告

平成26年8月広島豪雨災害に対して、TEC-FORCE（第2陣、砂防班）として8月26日（火）～9月1日（月）の7日間にわたって活動してきたので、その概要について報告します。

砂防班の任務は、土砂災害危険箇所（主に土石流危険渓流）について現地調査を行い、山の崩壊状況や河道閉塞の有無、谷に堆積している不安定な土砂等の状況などから、早期に応急対策が必要な箇所を抽出することでした。

北陸地方整備局から第1陣、第2陣合わせて4班（16名）が砂防班として出動し、広島市可部(かべ)地区と南原(なばら)地区の危険渓流79箇所について調査を実施しました。

調査した中には、もともと谷で無いところが崩れ、その土砂が民家まで流れ出ているところもあり、今回、土砂災害が発生した箇所以外でも危険な箇所が多くあると感じました。（浅井）



まず住民の方に状況を確認



新たに崩壊した山腹



新たに谷となって土砂が流出した箇所



不安定な土砂や流木が谷に堆積